

『元気づくり・地域づくりプロジェクト』活性化3か年計画

令和6年度

地域で実践するための支援

- ・本事業の説明
- ・市全体としての課題の共有
- ・各校区での取り組みについて情報交換
- ・好事例の紹介

令和7年度

継続実施できるようにするための支援

- ・定期的な情報交換会の実施
- ・近隣エリアや取組の方向性が似た校区、地域の状況が似た校区等での合同情報交換会の実施、他校区と合同でのアプローチ方法検討

令和8年度

市民全体へ向けた情報発信

- ・市民フォーラムの開催
- ・各校区での取り組みについてパネル発表orブース出展

令和6年度

「元気づくり・地域づくりプロジェクト交流会」の実施

- 生活支援体制整備事業の目的を再確認
- 市全体としての課題、進め方の共有
- 各校区での取り組みについて情報交換
- 事例の紹介

それぞれの所属へ持ち帰り、
明日からの活動の参考とできるようにする。
他校区との横のつながりが、
自校区での取り組みにおける一助
かつ刺激となるように。





づくりプロジェクト交流会 開催のご案内

(受付13:00~)
令和6年11月12日 (火) 13:30~

枚方市総合文化芸術センター別館 メセナホール
※各校区2名までご参加いただけます。

開催について

コロナ禍で停滞気味でありました地域での活動が再開し始めたことから、第2層協議体の交流会を開催する運びとなりました。

交流会では、生活支援体制整備事業の取組み方について共有し、第2層協議体にて取り組んでいただいている事例のプロセスの発表や、グループワークを通じての情報交換等を予定しています。今後の取組みに活かしていただければと思います。

当日スケジュール

- 13:30~ 開会
- 13:35~ 講義「今、求められている生活支援体制整備事業とは」
「全国での取組みの紹介」 / さわやか福祉財団様
- 講義「本市における取組みについて」 / 枚方市
- 14:15~ 校区での取組み発表 (各5分×2校区)、質疑応答
- 14:45~ 休憩
- 15:00~ グループワーク
- 16:00 閉会

持ち物

筆記用具・飲み物

令和6年10月 枚方市 健康福祉部 健康づくり課



づくりプロジェクト交流会

令和6年11月12日

13:30~ 開会

13:35~ 講義「今、求められている生活支援体制整備事業とは」
「全国での取組みの紹介」 / さわやか福祉財団様

講義「本市における取組みについて」 / 枚方市

14:15~ 校区での取組み発表

- ・番里校区
- ・中宮校区

14:45~ 休憩

15:00~ グループワーク「わが校区紹介」

講義等から感じたこと及び、校区での取組みに関する情報交換

16:00 閉会



枚方市 健康福祉部 健康づくり課

いす☆プロジェクトの取組み

～香里校区 あいさつのまち香里 での取組みスタートにおいて～



「取り組もう」「やろう」と思ったきっかけは、

- 地形** 坂道の多い地域特に香里園地区は坂がメイン
- 実情** 自治会館前の椅子やマンションの植え込みの角は、以前から利用している
- 住民の声** 「あいさつのまち香里」の会議で、地域住民から「道にいすを置いて欲しい」との声があった、と報告あり
- 市の動き** 校区福祉委員会から「いす☆プロジェクト」の報告あり

地域住民からの声が原動力となり校区での取組みへ。



「取り組もう」「やろう」と思ったきっかけは、

- 地形** 坂道の多い地域特に香里園地区は坂がメイン
- 実情** 自治会館前の椅子やマンションの植え込みの角は、以前から利用している
- 住民の声** 「あいさつのまち香里」の会議で、地域住民から「道にいすを置いて欲しい」との声があった、と報告あり
- 市の動き** 校区福祉委員会から「いす☆プロジェクト」の報告あり

地域住民からの声



取組みに関する企画・調整の際、困ったことは、

- ・いすの設置場所は、駅・スーパー等に向かうメインストリート
- ・地域住民の希望は坂道への設置



- ・公道への設置はできない
- ・斜めになっていることで設置しにくい、安全性の確保、座りにくさへの対策

問題を解決するためにしたことは、

- ・NTTの電話BOXが撤去されたことを把握。
- ・NTTに、その場所を借り、いすの設置ができないかを問い合わせ。

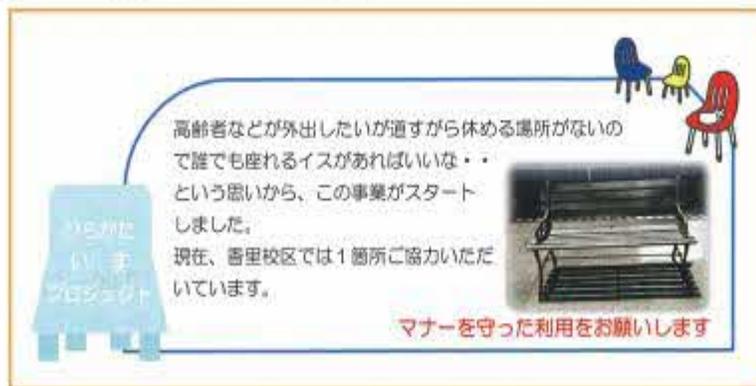
スマートフォンの普及
空地の活用



いすの固定はNG だが、いすの設置はOK



「香里 校区だより」でのお知らせ



高齢者などが外出したいが道すがら休める場所がないので誰でも座れるイスがあればいいな・・・という思いから、この事業がスタートしました。

現在、香里校区では1箇所ご協力いただいています。

マナーを守った利用をお願いします

「校区だより」でイスの設置をお知らせ。

記事を見て、社会福祉協議会へ「イスを置くにはどうしたらいいのか？」と問い合わせの電話あり。

みなさんへのメッセージ

ひとりひとりの“力”は大切にしないと
いけないが、
「ひとり」では出来る事が限られている。

『協力』すること と 『縁』
を大切にしていきたい。



中宮校区 お助けメイトの活動について

～住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために～

中宮校

おたすけメイト実行委員会発足 (2020年1月)

校区コミュニティ協議会の主な
関係役員等7名

- 会長、相談役
 - 福祉委員会会長
 - 連合自治会会長
 - 民生委員校区長
-
- 事務局(地域包括)



中宮校区コミュニティ協議会

地域の支え合い活動

「おたすけメイト」 のてびき



中宮校区元気づくり地域づくりプロジェクト

令和3年6月16日改訂

中宮校区コミュニティ協議会

地域の支え合い活動 「おたすけメイト」 のご案内



中宮校区元気づくり地域づくりプロジェクト

ちょっとした困りごと



【ご利用の仕方】まずはお電話ください。

- ① お困りごとをお伝えください。 → ② 相談窓口(コーディネーター) → ③ 「おたすけメイト」がサポートに伺います。
- 専用番号 080-4392-5500
受付時間：9時～17時(月～金)
祝日は除く



お困りごとの内容と、ご希望の訪問日や時間帯をお伝えください。



コーディネーターがご相談に応じ、協力金の目安をお伝えします。



サポートが終わったら「ありがとう」の言葉と一緒に協力金(運営費)をお支払いください。

「おたすけメイト」 サポートに対する協力金の目安

サポート内容・時間によりコーディネーターと相談して決定します。

簡単な援助： 100円 / 30分毎

例えば： 電球取り換え、ゴミ出し、簡単な買物
簡単な掃除、話し相手
歩いて行ける付き添い

経験や力の必要な援助などもご相談に応じます。

(この場合は、200円 / 30分毎)

例えば： 家具の移動、調理、バイクでの買物等

この協力金はメイトの報酬ではなく、活動の通信費等の運営費として活用されます。

お願い

- お急ぎのことには対応がむずかしいので、日にちの余裕をもってお電話ください。
- 医療や介護のことなど、お受けできないこともあることをご承知ください。

これまでの活動実績

- 草抜き
- 庭木の剪定
- 植木の水やり
- 買い物代行
- ゴミ出し、粗大ごみの搬出
- 室内清掃(高所)
- 電灯、換気扇の取り外し
- 窓の日差しよけの取り付け
- 風呂掃除
- 話し相手



今、求められている 生活支援体制整備事業とは

～全国での取組みの紹介～



公益財団法人さわやか福祉財団
共生社会推進リーダー

目崎智恵子

20241112

今日のお話し

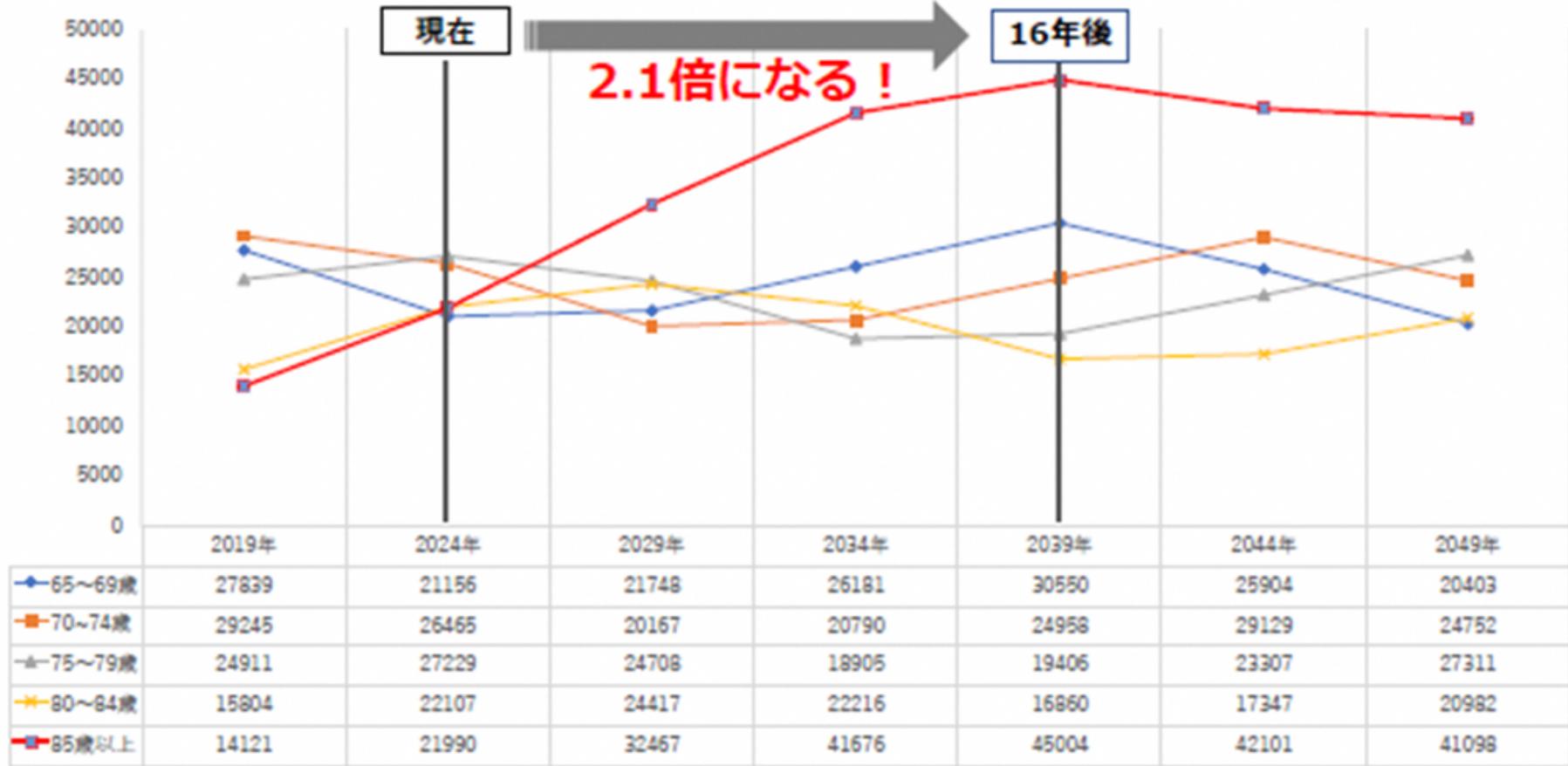
- 1 高齢者を支える日本の現状
- 2 地域包括ケアシステム
- 3 生活支援体制整備事業
- 5 社会参加・介護予防
- 6 事例



ちょっと 枚方市の状況を見てみましょう

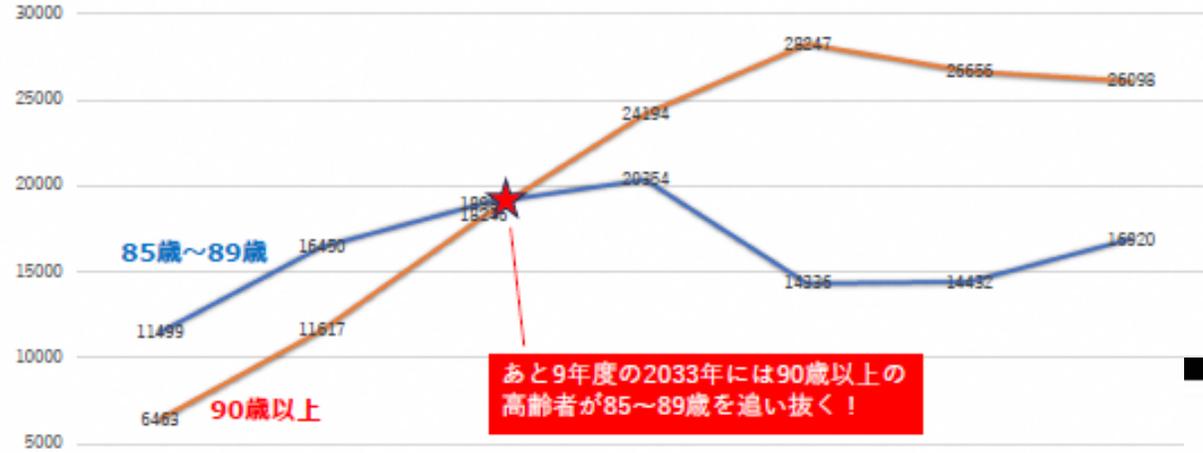


枚方市 年齢階層別人口推移(65歳以上)



出所：枚方市 人口推計調査報告書(R2年2月)

今後は90歳以上が急増していく！！



	2023	2028	2033	2038	2043	2048	2053
85～89	11499	16450	18988	20354	14336	14432	16920
90～	6463	11617	18246	24194	28247	26656	26098

出所：秋田市人口推計調査報告書

高齢者を取り巻く日本の現状



日本の現状～支え合い推進

日本の社会構造



高齢者

介護予防

社会参加

生活支援

地域包括ケアシステムとは…

国が目指している

地域包括ケアシステムって？

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に重度な要介護状態となっても

住み慣れた地域で

自分らしい人生を最後まで続けることができるよう

「医療・介護・予防・住まい・生活支援」

が一体的に提供されるシステム

保険者である市町村や都道府県が、
地域の自主性や主体性に基づき、
地域の特性に応じて作り上げる



地域包括ケアシステムのイメージ



生活支援体制整備事業とは

市町村が中心となって、住民や多様な生活支援を担う方々と連携しながら、**日常生活上の支援体制を充実・強化**、および**高齢者の社会参加の推進を、一体的に図っていくことを目的とする事業**です。

定期的な情報共有の場を、日常生活圏域ごとに設置し、支え合いを推進するためのコーディネート機能を持ち、**住民が自分事としてかかわる地域づくり**を行っています。

第1層協議体・第2層協議体



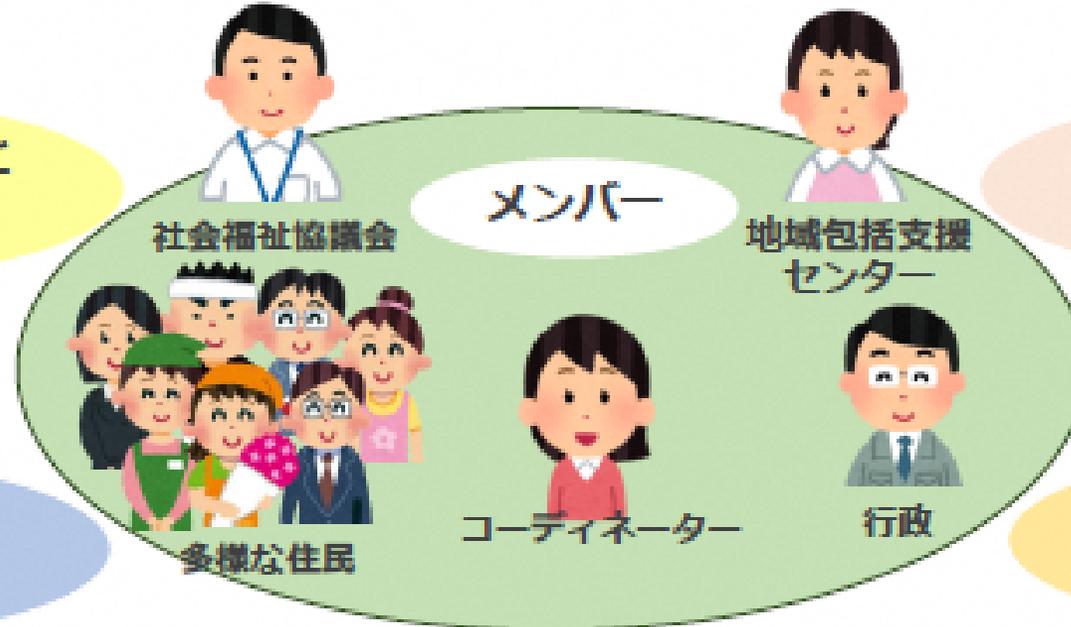
協議体 = 地域で“お互い様の支え合い”を作る話し合いの場

協議体

地域住民が自分の住む地域が
「**こうなったらいいよね**」という思いで、話し合い
各々の得意分野を活かし、その実現に向けての取り組みをみんなで考える場

地域の困りごと
を知る

地域にある
資源を調べる



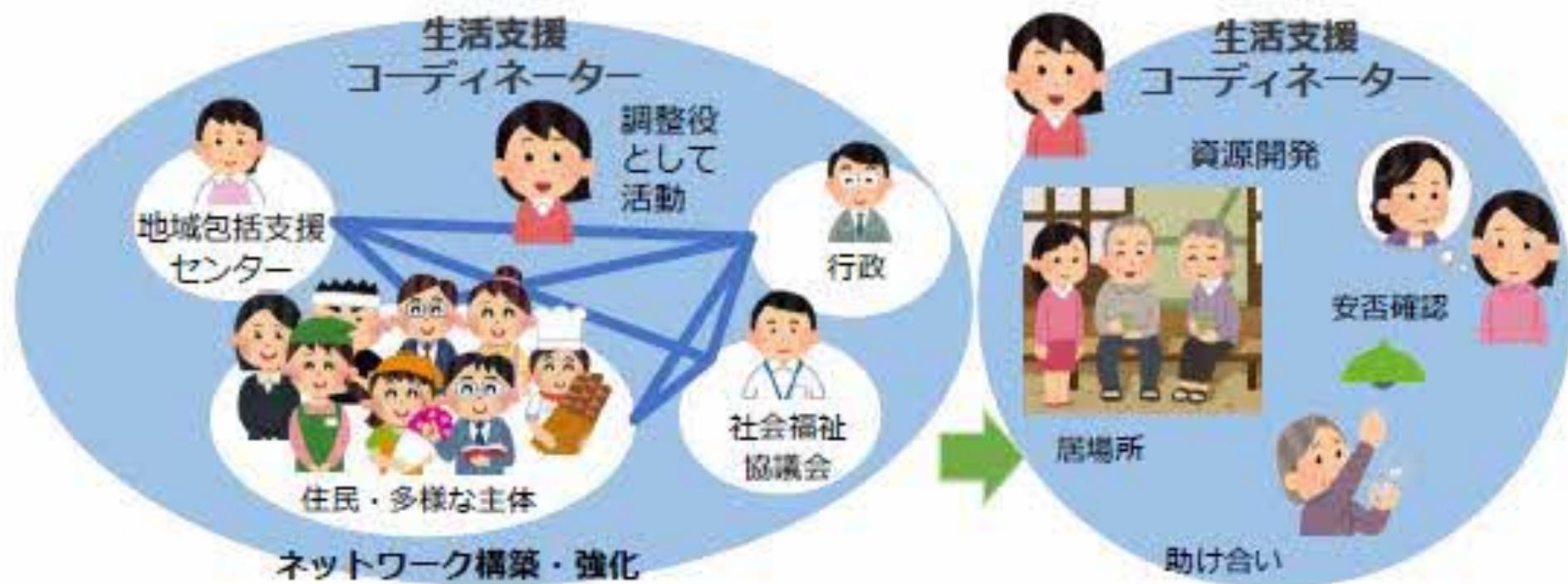
地域に必要な
資源を生み出す

ネットワーク
づくり

生活支援コーディネーターって？（支え合い推進員）
支え合いの体制を整備・推進する人

つなぐ人・創る人（住民とともに）

調整役【つなぐ】 資源開発【創る】



居場所（つながる）～生活支援（助け合う）へ

地域コミュニティ
の希薄化



高齢独居世帯
老夫婦世帯
増加



免許返納による
移動困難者の増加



小規模な地域商店
の閉店により
買い物困難者増加



元気なうちからお互い様で助け合う関係をつくる



社会参加・介護予防

多様な主体による支え合いの体制づくり

元気高齢者が助け合い活動に参加することで元気で居続けられる

まずは、みなさんの小さな一歩から

地域活動は

ひとり一人の個性や得意なことが活かせる場。

自分を認めてもらえる。楽しい仲間ができる。生きがいもてる。

まずは自分が元気で。

困ったときにはお互いさまで助け合う。

そんな枚方市を目指して

みんなでコツコツ頑張りましょう!!

